

テモテ
第一
①

「育みあおう 主の弟子として」

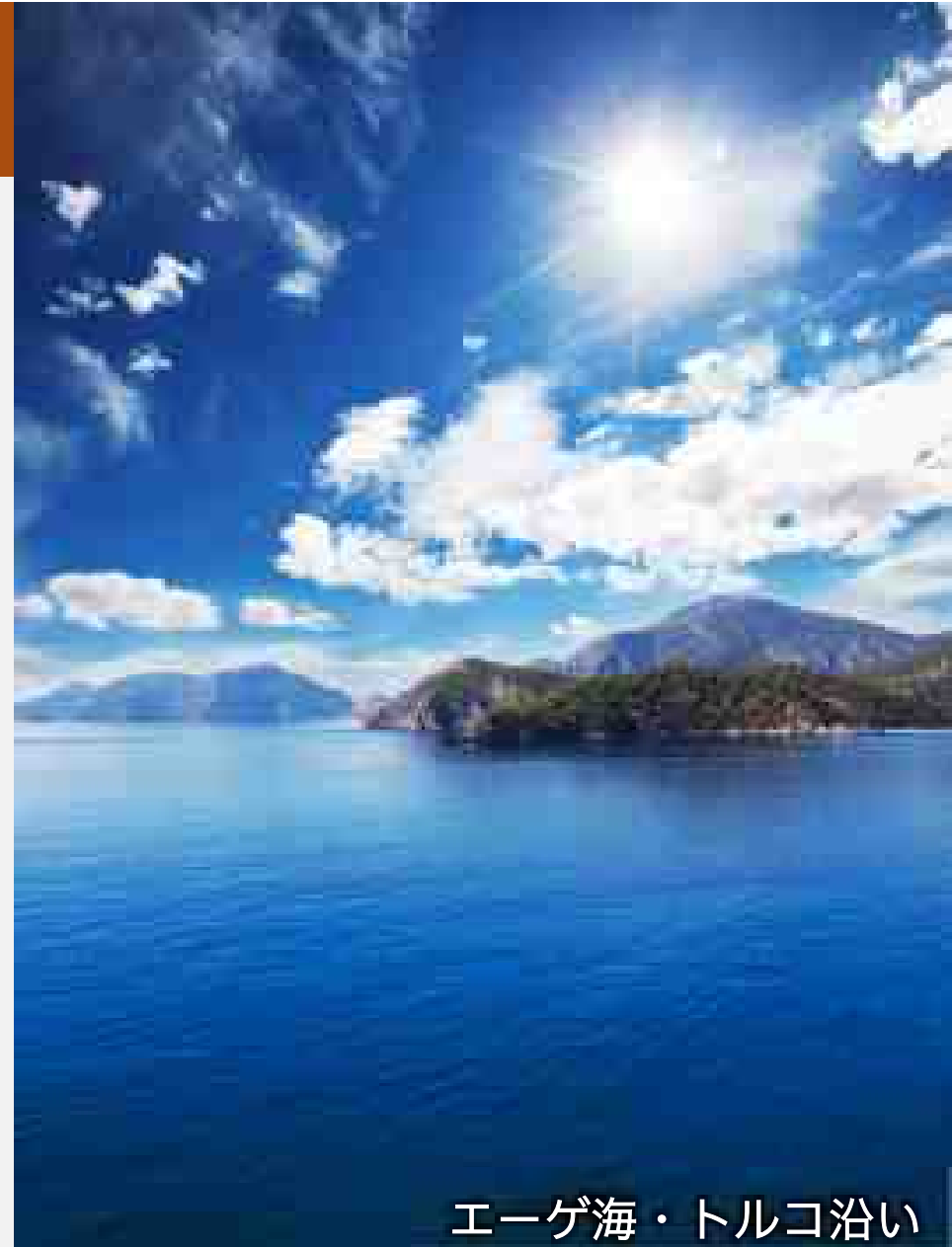
テモテへの手紙第一 1章 召された者の使命と責任

アウトライン

- 0. イントロダクション
- I. 信仰者の自己認識 1～11節
- II. 召された者の使命 12～20節
- III. まとめと適用

育み、育まれあうのが

キリストの弟子



エーゲ海・トルコ沿い

テモテへの手紙第一とは？

- 著者 …使徒パウロ。
- 宛先 …エペソ教会を指導中のテモテ
- 執筆時期・場所 …不明
聖書の文脈、意図に従うなら…
→ パウロが、エペソからギリシャへ
二度目のコリント訪問の旅の途中？
- 目的 …牧会書簡(テモテ、テトス)
牧会上の実践的な助言。励まし。



テモテとは？

- アジア州のリストラ出身。
- 父はギリシャ人。母はユダヤ人。
祖母ロイスと母ユニケより信仰を受け継ぐ。
幼い頃から聖書教育を受けた。
- 第二次伝道旅行のパウロと出会い、同行する。
- パウロの信頼厚く、残留したり、派遣されたり。
6つの手紙をパウロと共同執筆(コリントⅡ、
ピリピ、コロサイ、テサロニケⅠ・Ⅱ、ピレモン)





I. 信仰者の自己認識

テモテへの手紙第一 1章1～11節

エーゲ海・トルコ沿い

【パウロの自己認識】 | テモテ1:1

私たちの救い主である神と、私たちの望みであるキリスト・イエスの命令によって、キリスト・イエスの**使徒***となったパウロから、

*パウロは第二世代の**使徒**

…直接、イエスの教えを受けなかったが、復活の主イエスに出会い、導かれた。

■使徒は神とキリストの権威を帯びている。

→キリストの証人である一人一人のクリスチャンの権威も主にある。



【信仰による真実の子】 | テモテ1:2

信仰による、真のわが子テモテへ。父なる神と私たちの主キリスト・イエスから、恵みとあわれみと平安がありますように。

- 第二次伝道旅行中に出会い、導いた。
- 「あらゆる国の人々を“**弟子**としなさい”」
弟子とは、霊的な意味での**子**と言える。
→キリストの使者・クリスチャンとして
信仰の子と呼べる人を生み出し
あなたは育んできただろうか？



【テモテの使命】 | テモテ1:3

私がマケドニア*に行くときに言ったように、
あなたはエペソ*にとどまり、

*マケドニア …ギリシャ北部
(ピリピ、テサロニケ)

*エペソ …アジア州(トルコ)の州都

➔第三次宣教旅行で宣教。

3年間滞在、最大の伝道の成果を得た。

アルテミス神殿。盛んな偶像礼拝。

銀細工職人を発端とする暴動も。



【テモテの使命】 | テモテ1:3~4

ある人たちが違った教え*を説いたり、果てしない作り話*と系図に心を寄せたり*しないように命じなさい。そのようなものは、論議を引き起こすだけで、神に委ねられた信仰の務めを実現させることにはなりません。

*基本的教理からの逸脱があった

*グノーシスか？ …聖書を改変

*血統を誇る、律法主義のユダヤ人？



【神の命令は？】 | テモテ1:5~7

この命令*が目指す目標は、きよい心と健全な良心と偽りのない信仰から生まれる愛です。

ある人たちはこれらのものを見失い、むなしい議論に迷い込み、律法の教師でありたいと望みながら、自分の言っていることも、確信をもって主張している事柄についても理解していません。

*神に委ねられた信仰の務め(前節)

【適用】 マニアックな聖書知識に偏重し、自分の霊的成長を見失ってないか？



【律法の対象】 | テモテ1:8~10

私たちは知っています。律法は、次のことを知っていて適切に用いるなら、良いものです。

すなわち、律法は正しい人のためにあるのではなく、不法な者や不従順な者、不敬虔な者や罪深い者、汚れた者や俗悪な者、父を殺す者や母を殺す者、人を殺す者、淫らな者、男色をする者、人を誘拐する者、嘘をつく者、偽証する者のために、また、そのほかの健全な教えに反する行為のためにあるのです。

罪人に罪を突きつけるのが律法の役割



【栄光の福音】 | テモテ1:11

祝福に満ちた神の、**栄光の福音**によれば*、
そうなのであって、私はその福音を委ねられた
のです。

*福音との対照で浮き上がる、律法の目的

■福音とは、罪の贖いのためになされた、
“主イエスの十字架の死と葬りと復活”

■**栄光の福音** → 復活にスポットライト
→ 栄光の体で復活された主が再臨される時、
すべての信者も栄光の体を与えられる。





Ⅱ. 召された者の使命

I テモテ1章12～20節

エーゲ海・トルコ沿い

【キリストによる務め】 | テモテ1:12

私は、私を強くしてくださる、私たちの主キリスト・イエスに**感謝**しています。キリストは私を**忠実な者と認めて、この務めに任命***してくださったからです。

*キリストがパウロを使徒に任命された。

■務めを果たすための力も主が与えられる。

憂いなく、主の務めに全力を注げばいい!!



【パウロの回心】 | テモテ1:13

私は以前には*、神を冒瀆する者、迫害する者、暴力をふるう者でした。しかし、信じていないときに知らないでしたことだったので、あわれみを受けました。

*筋金入りの律法主義者で、

キリスト者迫害の最先鋒にいたパウロ

*誤りを純粹に信じていた → 180度の回心

【適用】 学びを重ねるほど責任は重くなる。

御言葉の学びの実を結んでいるか？



間違いを気づかされた瞬間に立ち返られるか？

【罪人のかしら】 | テモテ1:14~15

私たちの主の恵みは、キリスト・イエスにある信仰と愛とともに*満ちあふれました。

「キリスト・イエスは罪人を救うために世に來られた」ということばは真実であり、そのまま受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしら*です。

*キリストの十字架こそ、神の愛の極み
福音なしに、神の愛は語れない。

*キリスト者迫害の最先鋒だった事実。

福音はそのまま
受け入れるべきもの



【神のあわれみ】 | テモテ1:16

しかし、私はあわれみ*を受けました。それは、キリスト・イエスがこの上ない寛容をまず私に示し、私を、ご自分を信じて永遠のいのちを得ることになる人々の先例*にするためでした。

*一方的な神からの愛の働きかけ

*最も罪の重い者すら救われうる。

➡パウロも、十字架の罪人も、その先例

■先例として用いられ続けることがパウロの使命



【祈り】 | テモテ1:17

どうか、世々の王、すなわち、朽ちることなく、目に見えない唯一の神に、誉れと栄光が世々限りなくありますように。アーメン。

神は、

- ① 世々の王、真実の世の支配者
- ② 朽ちることなく、永遠に存在する方
- ③ 目に見えない方
- ④ 唯一の方
- ⑤ 誉れと栄光を世々限りなく受けるべき方



【テモテへの神の預言】 | テモテ1:18

私の子テモテよ。以前あなたについてなされた預言*にしたがって、私はあなたにこの命令を委ねます。それは、あなたがあの預言*によって、信仰と健全な良心を保ち、立派に戦い抜く*ためです。

*テモテの指導者としての召命に関する預言？

手紙(新約聖書)の執筆者としての使命？

*戦い抜けない者がいるという現実。

【適用】 私たちは、完成された預言(聖書)によって、信仰を保ち、戦い抜くべき!!



【信仰の破船】 I テモテ1:19～20

ある人たちは健全な良心を捨てて、信仰の破船にいました。その中には、ヒメナイ*とアレクサンドロ*がいます。私は、神を冒瀆してはならないことを学ばせるため、彼らをサタンに引き渡しました*。

*偽教師(II テモ2:17)

*銅細工人(II テモ4:14～15)

*放置、サタンのなすがまま。➡最重の懲戒





Ⅲ. まとめと適用 育み、育まれあうのがキリストの弟子

テモテが臨んでいた信仰の戦い

- テモテが指導者として置かれたのは、アジア州の州都エペソ。パウロの伝道旅行で最大の成果を治めた町。➡最大の地域教会が。
- 銀細工職人を発端にしたクリスチャンに対する暴動もあった。グノーシスの異端、ユダヤ人の律法主義者の悪影響も。
- 信仰が逸脱する者も多くいた。指導的立場の者にまで!!
テモテには、エペソ教会の内にも外にも敵があり、問題は山積。

クリスチャンには、絶えざる信仰の戦いがある!!

キリストの弟子としての使命を確認しよう

- テモテを、信仰による真の子と呼んだパウロが果たしていた使命。
“あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい” (マタ29:19)
→ あなたは主の弟子として育まれ、誰かを育んできたのか？
- クリスチャンを成長させるのが、**忍耐**。
忍耐とは、子の**成長を見守る愛**のこと。
最も強く忍耐を求められるのは、**誰かを育む**立場に置かれたとき。
- クリスチャンは、**誰かを育むこと、育みあうことで成長させられる**。
→ 人との関係を拒む、信仰深いクリスチャンなど、ありえない!!

★ キリストの弟子として生まれ、育みあっているか？ ★

- 神は、完成した私の姿を見て、**忍耐**して私を育てくださっている。主イエスの十字架を担う弟子の私も、誰かを育む**忍耐**を求められる。
→次世代の育成こそ、クリスチャン最大の使命と知ろう。
- 真のクリスチャンは、人への投資に惜しみなく、与え、育む。何年もクリスチャンを名乗りながら、子と呼べる人がいないなら？
- 福音を信じて救われた人は、必ず聖霊によって成長していける。誰かを育み、育みあい、自分自身の信仰を成長させていこう。

キリストの弟子として、誰かの信仰の成長に責任を負っていこう

「天のお父さま。わたしは、み子イエス・キリストが、

①わたしの^{つみ あがな}罪を贖うために^{じゅうじか し}十字架で死に、

②墓に^{はか ほうむ}葬られ、

③三日目に^{みっかめ ふっかつ}復活した^{しん}こと、を信じます。

主よ、あなたが、^{せいれい}聖霊によって、^{わたし せいちょう}私を成長させてくださいます。

^{はぐく}育まれつつ、^{だれ はぐ}誰かを^{もと}育てていくことを、あなたは求められています。

^{わたし かんせい}私の完成した姿を見て、^{すがた み}主が^{しゅ にんたい}忍耐して^{わたし はぐ}私を育てているように、

^{わたしじしん}私自身も、^{きょうだいしまい かんせい み}兄弟姉妹の完成を見て、^{にんたい はぐく}忍耐して育てていけますように。

^{まこと こ はぐく}真の子を^{さいだい よろこ}育む、最大の喜びを、^{わたし あじ}どうか私に味わわせてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」